

事務事業名		前期高齢者納付金支払事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係		国保係	担当課長名	落合 眞
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 国民健康保険制度の適正運営の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	16587	国保(事業)	4	1	1	前期高齢者納付金					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～ 年度		根拠法令 条例等	高齢者の医療の確保に関する法律					
						実施方法		直営			
						事業分類		その他内部事務事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
65歳以上74歳以下の高齢者の給付費について、保険者間の偏在による負担の不均衡を調整するため、国民健康保険、被用者保険の保険者が、その加入数に応じて費用負担の調整を行う制度で、社会保険診療報酬支払基金へ納付します。					左記に同じです。						
活動指標					単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
4月1日現在の65歳以上74歳以下の人口					人	15,277	16,104	16,844			
前期高齢者被保険者数(年度平均)					人	11,743	12,233	12,700			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
国民健康保険被保険者					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
被保険者(年度平均)					人	36,624	35,489	34,400			
目的											
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
前期高齢者の偏在による負担の不均衡を調整し、国民健康保険事業の円滑な運営に資する。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
1人当り納付金負担額					円	48.3	37.5	84.2			
前期高齢者交付金					円	2,783,509,265	2,670,931,147	2,558,353,000			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
国民健康保険制度が適正に運営され、安心して医療を受けられる。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
1人当たりの医療費の伸び率					%	3.7	1.5	2.8			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他一般会計	千円								
	その他一般財源	千円	1,770	1,330	2,895					
	事業費計(A)	千円	1,770	1,330	2,895	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	1,770	負担金	1,330	負担金	2,895		
	人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	8	8	8						
人件費計(B)	千円	31	32	32	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,801	1,362	2,927	0	0				

事務事業名	前期高齢者納付金支払事務	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課	担当係	国保係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年4月に高齢者の医療の確保に関する法律が施行されたことにもない事業が開始しました。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国民健康保険の被保険者における前期高齢者の占める割合が高くなっています。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特にありません。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外です。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 前期高齢者に係る負担調整は、国民健康保険財政の健全化、制度の適正運営に結びついています。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 高齢者の医療の確保に関する法律第36条第2項に「保険者は、前期高齢者支援金を納付する義務を負う。」とあり、市が行わなければならない。ただし、費用負担の調整は、社会保険診療報酬支払基金で行っています。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 対象と意図は法令に基づいており、妥当です。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	前期高齢者の偏在による負担の不均衡を調整し、国民健康保険事業の円滑な運営に資する。	理由・改善案 法令で定められた納付金の支払いを行うもので、成果を問うものではありません。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 高齢者の医療の確保に関する法律による保険者の前期高齢者交付金等の額の算定等に関する省令第2章(第17条から第22条)に規定する納付額に基づいており、裁量の余地がありません。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	今後、受益者負担を求める必要がある	理由・改善案 保険者間の前期高齢者の偏在による負担の不均衡を調整するという目的に基づき随時見直しが検討されており、また、世代間の負担の公平を維持するため、人口構成に占める前期高齢者と現役世代の比率の変化に応じて、それぞれの負担割合が検討される必要があります。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	法定事務のため、国民健康保険制度を市が運営する限り、廃止できません。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			